

令和2年度水と緑の森づくり事業の評価（事務局案）

事業名	里山再生整備事業	実施額	135百万円					
事業目的	地域ニーズに応じた里山の再生整備を県民協働で推進する							
評価のポイント	評価対象	里山林整備の実施面積						
	評価方法	整備目標に対する進捗状況进行评估						
計画及び実績	里山林整備 計画及び実績 (単位:ha)							
	区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4-8	目標
	計画	227	281	224	219	213	812	2,000
	実績	216	272	243	244	-	-	
	実績(累計)	216	488	731	975		-	-
令和2年度計画219haに対し、地域住民の意向を踏まえ、 実績は244ha となった。								
評価	達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成							

事業名	みどりの森再生事業	実施額	83百万円					
事業目的	奥地の過密人工林や、竹が侵入した人工林を整備し、スギと広葉樹の混交林に誘導する							
評価のポイント	評価対象	混交林整備の実施面積						
	評価方法	整備目標に対する進捗状況进行评估						
計画及び実績	混交林整備 計画及び実績 (単位:ha)							
	区分	H29	H30	R1	R2	R3	R4-8	目標
	計画	52	67	61	63	65	192	500
	実績	53	65	61	64	-	-	
	実績(累計)	53	118	179	243		-	-
令和2年度計画63haに対し、 実績は64ha となった。								
評価	達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成							

事業名	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」普及推進事業	実施額	106百万円					
事業目的	優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の普及を図るため、苗木の育成と、スギ人工林伐採跡地への植栽、初期保育を支援する							
評価のポイント	評価対象	優良無花粉スギの植栽面積						
	評価方法	整備目標に対する進捗状況の評価						
計画及び実績	「立山 森の輝き」植栽 計画及び実績 (単位:ha)							
	区 分	H29	H30	R1	R2	R3	R4-8	目標
	計 画	20	20	20	50	50	300	460
	実 績	20	20	17	29	-	-	
	実績(累計)	20	40	57	86	-	-	-
令和2年度計画50haに対し、新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年春先から夏にかけて、木材需要や価格の落ち込みにより、主伐時期が遅れ、植栽箇所を確保できず、 実績は29ha となった。								
評価	達 成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成							

事業名	とやまの森づくりサポートセンター活動推進事業	実施額	24百万円
事業目的	森林ボランティア等を総合的専門的に支援し、県民参加による森づくり活動を支援する		
評価のポイント	評価対象	県内におけるボランティアの活動状況	
	評価方法	森づくり参加延べ人数の状況で評価	
目標及び実績	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大防止、クマの出没増によりボランティア活動や大型イベントの中止や規模縮小などが見受けられたため、前年から減少し、9,762人(対前年比79%)となったが、8月からはサポートセンターの支援等により多くの森づくり活動が再開された。</p>		
評価	達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成		

事業名	とやまの森づくり普及啓発推進事業	実施額	2百万円																																				
事業目的	森づくりに対する意識の高揚と森づくりに関する教育推進のための指導者の養成する森林教室や出前講座として「森の寺子屋」を開催する																																						
評価のポイント	評価対象	「森の寺子屋」の開催状況																																					
	評価方法	「森の寺子屋」実施状況で評価																																					
実績	<p>・「森の寺子屋」44回(対象人数延べ2,211名)開催</p> <p>・開催した学校(児童)のアンケート結果</p> <p>設問1 今回開催した『森の寺子屋』の内容は分かりやすかったですか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回答数</th> <th>グラフ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 分かりやすかった</td> <td>35</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>2 ぶつう</td> <td>6</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>3 難しかった</td> <td>1</td> <td>2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>設問2 『森の寺子屋』を受けて、森のはたらきや木材を利用すること、森づくりの大切さについて関心を持ちましたか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回答数</th> <th>グラフ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 大変関心を持った</td> <td>35</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>2 ある程度関心を持った</td> <td>7</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>3 変わらない</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>設問3 今後も森のはたらきや大切さを学ぶ『森の寺子屋』の授業を受けたいですか？</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>回答数</th> <th>グラフ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 受けたい</td> <td>40</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td>2 受けたくない</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 どちらでもよい</td> <td>2</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>児童をはじめ広く県民を対象とした「森の寺子屋」の実施については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止により開催の中止や規模縮小などが見受けられたため、前年から減少し、44回となった。開催した学校のアンケート結果では、児童からは今後も授業を受けたい、教諭からも今後も要望したいと概ね良好な意見が多く、コロナ禍においても森づくりに関する理解を深めることができた。</p>			項目	回答数	グラフ	1 分かりやすかった	35	83%	2 ぶつう	6	14%	3 難しかった	1	2%	項目	回答数	グラフ	1 大変関心を持った	35	83%	2 ある程度関心を持った	7	17%	3 変わらない	0		項目	回答数	グラフ	1 受けたい	40	95%	2 受けたくない	0		3 どちらでもよい	2	5%
項目	回答数	グラフ																																					
1 分かりやすかった	35	83%																																					
2 ぶつう	6	14%																																					
3 難しかった	1	2%																																					
項目	回答数	グラフ																																					
1 大変関心を持った	35	83%																																					
2 ある程度関心を持った	7	17%																																					
3 変わらない	0																																						
項目	回答数	グラフ																																					
1 受けたい	40	95%																																					
2 受けたくない	0																																						
3 どちらでもよい	2	5%																																					
評価	達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成																																						

事業名	県産材利用促進事業	実施額	11百万円
事業目的	県産材を使った木製品の設置や公共施設の内装木質化などによる県産材の普及啓発と森づくりへの理解を醸成する		
評価のポイント	評価対象	木質化施設、木製品設置施設等での県産材の評価	
	評価方法	施設職員および利用者(園児の保護者を含む)のアンケートにより評価	
実績	<p>○実績</p> <p>1 木の香るとやまの街づくり事業</p> <p>県産材を使った備品の導入に対して支援:4施設 片貝コミュニティセンター(魚津市)、富山県北方領土史料室(黒部市)、オタヤ子ども広場(高岡市)、氷見市海浜植物園(氷見市)</p> <p>2 木育推進事業</p> <p>(1) 県産材こどもの城づくり事業</p> <p>こども達のアイデアによる県産材を使った木製遊具を製作・設置:4施設 藤園幼稚園(富山市)、西田地方保育園(富山市)、やまむろこども園(富山市)、和田保育園(高岡市)</p> <p>(2) とやま県産材遊具導入支援事業</p> <p>県産材で作った遊具の導入に対して支援:1施設 オタヤ子ども広場(高岡市)</p>		
	<p>○各事業の取組みにおけるアンケート結果</p> <p>木の香るとやまの街づくり事業 県産材こどもの城づくり事業 とやま県産材遊具導入支援事業</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木の温もりを感じることができ、心がやすらぐ ・森林や環境の保全に繋がって良いことだと思う ・子供達に、富山で育った木が使われているという話ができ、資源について学ぶきっかけにもなると思う ・県産材を身近に感じるとともに、その良さや質感を直に感じることができる など <p>アンケートの結果、事業の取組み評価は高く、また、主な意見として木の持つ特徴を好意的に捉えたものや、県産材の利用への理解に関する意見もあり、県産材の良さをPRすることができた。</p>		
評価	達成 ・ ほぼ達成 ・ 未達成		